



2021年 上期号
発行：筍山会
(野田たけひこ後援会)
船橋市薬円台 6-6-8
047-464-9333

誰もが住みやすい千葉県をつくる！

共生社会の 実現を目指して

新年のご挨拶に先立ちまして、昨年からの猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症に感染した方々にお見舞いを申し上げますとともに、それによってお亡くなりになられた方々へ心よりご冥福を申し上げます。

また、大きな感染リスクの中で、昼夜を問わず命がけで奮闘して下さっている医療従事者の皆様に心から敬意を表し、御礼を申し上げます。

年頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年は、立憲民主党と国民民主党及び野党系無所属議員が合流して、新たな「立憲民主党」が誕生しました。私は兄と同じく新党に合流しました。皆様のご期待にお応えすべく精一杯頑張る所存です。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。皆様におかれましては、今年もまた引き続きご指導・ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。令和3年が皆様にとりまして幸多き年となりますよう心よりご祈念申し上げます。

◇公約実現！ 障害者等用駐車区画の適正利用



「障害者等用駐車区画」とは、施設の出入り口付近などに設置される車イスの乗降に必要な広さを備えた駐車区画で、法律により一定規模以上の公共施設や商業施設等で駐車場の整備する際に、その設置が義務付けられている駐車区画です。そこには車イスの「国際シンボルマーク」が大きくペイントされています。

しかしながら、2014年に一般社団法人「障がい者社会参画支援機構」が千葉県内の市役所や高速道路のパーキングエリア、商業施設で利用実態を調査したところ、利用者の約80%は「健常者」で、障がい者から「雨の日や土曜日は特に停められない」「年々停めづらくなってきた」という声が寄せられました。

そこで、障害者等用駐車区画の適正利用を図るために全国38道府県で導入されているのが「パーキング・パーミット制度」です。公共施設や商業施設をはじめとする、さまざまな施設に設置されている障害者等用駐車区画の利用対象者を、障害者、介護が必要な高齢者、妊産婦、けが人など、歩行が困難と認められる人に限定し、対象者には「利用証」を交付することで適正利用を図る制度です。障害のある人の中には、内部障害などにより歩行が困難なもの、外見からは分かりにくい障害の人もありますが、「パーキング・パーミット制度」は、このような人たちが利用対象者であることを明確にするためにも役立っています。

そのようなことから、私は2016年の2月定例県議会での予算委員会、同年6月定例県議会の一般質問、昨年11月開催の千葉県障害者差別解消支援地域協議会等、様々な機会を通じて、千葉県でも「パーキング・パーミット制度」を導入するよう県に働きかけてきました。私のこの思いは、県議会における政党・会派等の垣根を越え、多くの議員の賛同を得るに至りました。

そして昨年10月1日、ようやく「パーキング・パーミット制度」導入という思いを同じくする議員の質問に対して県の執行部から「障害者等用駐車区画の適正利用を促進する上での利点が認められたことから、今後は、制度の早期導入を見据え、検討を進めて参ります」という答弁を得ることができました。これから私は「パーキン

知を回り、利用者のマナー向上を促すことや、駐車場設置者には、障害者等用駐車区画の拡充を働きかける等、今後とも障害者等用駐車区画の適正利用の取組を充実させていく所存です。

◇公約実現！ ヘアドネーション

県内全域に広がる
善意の輪！

ヘアドネーションとは、小児がん等の病气や事故等により髪の毛を失った子どもたちのために、髪の毛を寄付し、それによって「ウィッグ」を作り、無償で提供する活動です。

私が2018年の2月県議会ですべて取り上げ、協力を促すという活動は、行政が理解を示し、協力するということになりました。

しかし、船橋市では昨年の成人式に、市が作成した啓発チラシを配布し、今では千葉県も、県内54市町村全てにその普及・啓発・協力を呼びかけています。2020年12月現在40近くの市町村から協力の申し出があり、各市町村主催の成人式において、県が作成した「身近な社会貢献を初めてみませんかーヘアドネーションで病氣と闘う子どもたちを笑顔にー」というチラシを配布し、広く普及・啓発されることになっていきます。

※詳しくは千葉県や船橋市のホームページをご覧ください。

◇シトラスリボンプロジェクト

コロナ感染者やその家族に誹謗中傷が起き始めた4月上旬、コロナ差別解消を目指して愛媛県松山市

の市民や松山大学の教授らによって「シトラスリボンプロジェクト」が発足しました。地域・家庭・職場や学校を象徴する「3つの輪」をかたどった「シトラス（愛媛県特産の柑橘類、薄緑色）リボン」をつけることで、新型コロナウィルスに感染した人やその家族、医療従事者等に「私は応援しているよ」という気持ちや伝えていること、感染者が差別を受けにくい環境を整える目的で始めたプロジェクトです。声高な主張ではなく共感を軸にして無理なく主張せず活動していくことを目指しているそうです。

9月25日に行われた、千葉県議会の我が会派の代表質問においても、私の「思いやりの輪」を広げようとの思いに添えて頂き、「シトラスリボンプロジェクト」についても取り上げ、千葉県における新型コロナウィルス感染症への差別、誹謗中傷の現状と、その対応策は検討されているのかについて質問しました。

また、この運動の趣旨に賛同してくれた同志である高橋けんたろう船橋市議員が、9月9日に市議会で「市内の医療従事者、感染者やその家族に対して、目に見える形で応援するために、（シトラスリボン）活動に賛同の方で検討してはどうか。まず、市のホームページで紹介するなどしてはどうか」との質問をしてくださいました。

その後船橋市は、「シトラスリボンプロジェクト」へ積極的に賛同することになりました。

◎船橋市ホームページ・広報ふなばしへの掲載
◎啓発ポスターを公館・図書館・児童ホーム

に揭示
◎船橋駅前のデジタルサイネージや本庁舎エレベーター・ホール・モニターへの表示
◎市内小中学校の児童生徒にリボンを配布
◎市職員の名刺にシトラスリボンのロゴと賛同の旨を記載
◎令和3年度の成人式に参加する新成人に啓発チラシを配布

皆さまも新型コロナウィルス陽性者やその家族、医療従事者等への差別、誹謗中傷をなくすため、「シトラスリボンプロジェクト」には是非ご参加下さい。※詳しくは、船橋市ホームページをご覧ください。



令和2年12月3日コロナ禍での代表質問

(裏面へ続く)

12月県議会

12月3日代表質問を行いました。

◆新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症の第3波到来で、感染者数が急増し医療現場は厳しさを増しています。医療崩壊を防ぐには県保健所におけるマンパワーの増強をさらに図る必要があるとの提言を行いました。さらに、インフルエンザとの同時流行に備え、発熱外来に対する県独自の支援策を検討すべきとの提言を行いました。

知事答弁

発熱患者等の増加に備えて、発熱相談コールセンターに看護師等を配置し、これまで保健所が担ってきた健康相談への対応を集約化することなどにより、保健所の負担軽減を図ることとする。

インフルエンザとの同時流行に備え、検査体制の拡充に努めている。感染すると重症化するリスクが高い高齢者施設等の入所者や、当該施設の従事者への優先的な検査も重要であると考えている。

◆児童虐待防止の取り組み

本県の児童虐待相談対応件数は、8年連続で増加しています。県の児童相談所においても、児童相談所の増設、専門職員の増員や資質向上、市町村や関係機関との連携強化、民間施設へのさらなる支援等、課題が山積しています。また、県の一時保護所においても定員オーバー、過密化の解消、職員増員による労働環境の改善、専門性向上のための研修機会の確保等、さまざまな取り組みが必要です。

県が行っている新たな児童相談所運営監査事業は、どのような視点で、どのように行われるのか、児童相談所一時保護ガイドラインを受け、県はどのように取り組んでいるのか質問を行い、千葉県も一時保護専用施設の設置を促進すべきとの提言を行いました。

副知事答弁

痛ましい死亡事例が発生することがないよう児童相談所の業務の質の向上を図るため、学識経験者などの第三者による評価を実施し、児童相談所の役割・機能を適切に果たすためのソーシャルワークの在り方や各機関の連携体制などを確認し、改善等につなげていく。

民間の児童養護施設等が一時保護専用の施設を整備することは、定員超過の解消や入所児童の生活環境の向上に寄与するため、県では施設整備に要する経費や開設後の運営費を支援している。現在、県内に2か所設置しているが、今後とも、設置に向け、関係団体に働きかけ、課題等について協議し、整備の促進に努める。

◆性犯罪対策

性犯罪は、その性質から弱者が狙われやすく、未成年者や障がい者が被害にあうことが多いといわれています。未成年者や障がい者が被害にあうことが多いといわれています。また、小児わいせつ事件を起こした者の8割以上が「再犯者」です。各都道府県警察の性犯罪被害相談窓口につながる、全国共通短縮ダイヤル番号「#8103」（ハートさん）や、今年度の10月から導入された、被害者が被害直後にどこからでも相談できる各地のワンストップ支援センターにつながる全国共通短縮ダイヤル番号「#8891」（はやくワンストップ）を

県民に広く周知すべきとの提言を行いました。

副知事答弁

11月に商業施設等で実施した「女性に対する暴力をなくす運動」の啓発キャンペーンにおいて、短縮ダイヤルを記載した広報カードの配布を行うとともに、市町村等の関係機関へポスター掲示等を依頼し、周知を図っていく。

◆ホームドアの整備計画

ホームからの転落事故は2019年度までの直近5年間で1万6千件にも上り、そのうち、視覚障がい者の転落事故は、400件近くもありました。

県内駅におけるホームドアの整備見通しと、県内駅のホームドアの早期設置に向けて、どのように取り組んでいくのか質問を行い、高齢者、障がい者、体調不良者等の安全性の向上の為に、県はホームドア導入に係る助成をすべきとの提言を行いました。

副知事答弁

県内では、現在、総武緩行線の西船橋駅及び常磐緩行線の北船橋駅から北柏駅間の7駅において、2021年度末までの供用開始に向けて整備が進められている。常磐緩行線の松戸駅においても、2024年度の供用開始に向けて調整が進められている。東京メトロの西船橋駅については、2024年度末までに整備する。

今後も、誰もが住みやすい千葉県をつくり、共生社会の実現を目指して、しっかりと提言を行う所存です。

野田たけひこ

弱者に寄り添う県政を



岡山県 橋本英世

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には幸多き新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスに翻弄され、私たちの生活に様々な影響が及んだ一年となりました。各種のイベントが中止になり、外出自粛や働き方の変化をきっかけに、図らずも自身の仕事や生活、今までの価値観と改めて深く向き合うことになりました。そして、健康や経済への悪影響を恐れるばかりでなく、新たなプラス思考の価値観や生活様式に共感できるようにもなりました。

今後、感染リスクに配慮しつつ、日々の経済活動を維持していかねばなりません。その為にも政治の役割は大きいと思います。個々人の自覚は勿論のこと、行政の支援やリーダーシップが求められることでしょう。

野田剛彦県議は、これまでも様々な提言をしてきました。弱者に寄り添い、県民の命と生活を守る。今後の更なる活動に期待したいと思っています。

まだまだ寒い日が続きますが、新型コロナウイルスの感染の心配もありますが、くれぐれもご自愛ください。皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

くまがい俊人 支援のお願い

今年の3月に千葉県知事選挙があります。私は全国の政令市の中で最も財政状況が悪



かった千葉市を立て直し、一昨年の災害時でも陣頭指揮で災害対応をした現千葉市長であるくまがい俊人さんを全力で応援します。くまがい俊人さんの後援会報を同封致しましたので、これまでの実績や将来ビジョン等についてご高覧頂き、応援の輪を広げて頂ければ幸いに存じます。

◆新規会員登録

岡山県では、新規会員を随時募集しています。ご友人、ご親戚の方などを紹介ください。

会費は、半年ごとに一口1000円です。何口でも納入して頂くことができます。半年ごとに郵送する会報「旬（たけのこ）」に振込用紙を同封します。ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

なお、政治資金規正法により、企業献金は受け付けられませんので、お振込みは個人名でお願い致します。

◆ボランティア募集

野田たけひこ本人が、主要駅近辺で街頭活動をしています。野田たけひこと一緒にボランティアをしていただ

るボランティアの方々を大募集中です。お気軽にご連絡下さい。

しゅんざんかい 岡山会からのお知らせ

◆ホームページ

岡山会のホームページでは、野田たけひこの県政活動報告や、「県政改革」を随時更新するほか、様々な情報を発信しています。左記アドレスまたはQRコードより是非ご覧下さい。



http://www.shunzankai.com
メール nodatake@shunzankai.com

◆ご意見

野田たけひこへのご意見、県政へのご要望など、皆様の声をお聞かせ下さい。左記住所へ郵便、または電子メールでお送り下さい。

〒274-0077
船橋市薬円台

6・6・8
岡山会事務所
047-464-9333